

生産者の思いが実る 「あかつき」 33年連続で献上桃に

今年も、町産桃「あかつき」が、皇室献上品として県から指定を受けました。皇室への献上は、平成6年から始まり、今年で33回目。献上桃決定通知交付式が、6月9日、役場で行われ、高橋宣博町長立会いのもと、県北農林事務所の小久保仁子所長からJAふくしま未来の半澤正志伊達地区理事・営農経済委員

へ決定通知が交付されました。半澤理事は「高品質な桃を届けられるよう、気持ちを新たに栽培に励みます」と決意し、高橋宣博町長は「大変な名誉に非常にうれしく思う。新しい地域資源に成長した桃を、未来永劫に渡って町民の宝と誇りとして大切に育てていきます」と祝意を述べました。

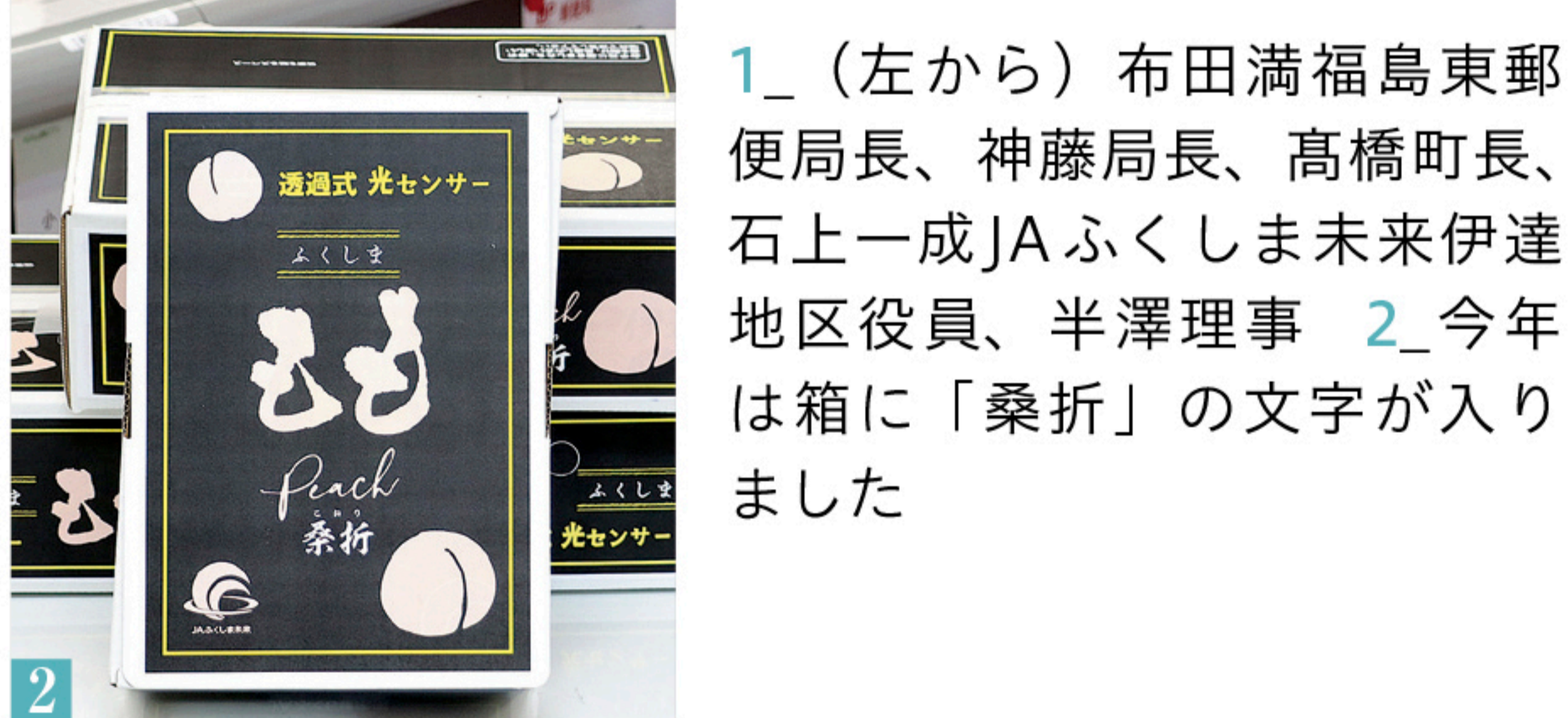


1_ 決定通知書を受け取る半澤理事（左）と小久保所長（右） 2_（左から）高橋町長、半澤理事、小久保所長

桑折の桃を全国へ ふるさと小包申込み・販売開始

日本郵便株式会社のカタログ商品「ふるさと小包」で、町産桃の販売が昨年度から引き続き始まりました。この商品は、同社福島県北部地区連絡会がJAふくしま未来協力のもと、福島県、宮城県、東京都、茨城県、栃木県の全郵便局、計2,960局で販売されます。

販売開始セレモニーが6月1日、桑折郵便局で行われ、同会地区統括局長・桑折郵便局長の神藤厚さんが「多くのお客様に町産のおいしい桃を食べてもらえるよう、販路拡大したい」とあいさつし、高橋町長が「全国に広く認知される絶好の機会」と祝辞を贈りました。



1_（左から）布田満福島東郵便局長、神藤局長、高橋町長、石上一成JAふくしま未来伊達地区役員、半澤理事 2_ 今年箱に「桑折」の文字が入りました

広告

広告